

2024年度 事業計画書
(2024年4月1日～2025年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ財団

2024年度 事業計画書

合併後2年目となる本年度、多様化する社会課題に向き合い、持続可能かつ創造的で豊かな社会の実現を目指して、芸術文化並びに学術研究の振興、両分野の協創を通じた新たな価値の創出への貢献を実行する。

学術研究助成は、専門性の高い学術研究に対する助成活動を行い、対象とする研究分野の学会、研究者への一助とするために事業活動を展開し、知の創造と発展に向けた支援を行う。

2023年度の助成先による研究結果の報告会は、実開催とオンライン開催を併用したハイブリット開催を予定し、選考委員の先生方をはじめ、役員、アサヒグループ参加者の意見交換の場とする。それらを踏まえて最終報告を研究紀要としてとりまとめ、財団Webサイトで広く発信する。

芸術文化活動としては、アサヒグループ大山崎山荘美術館の運営を中心に活動していく。また、美術館運営事業と関連性の高い伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する活動に対して助成を行う。

主たる事業の計画

1. 学術研究活動への助成

「食・生活部門」と「環境・サステナビリティ部門」の2部門について、総計95件（2023年度73件）の応募案件から選考した17件に対して総額1,600万円の助成を実施する計画とする。

2. 助成研究のサポート、社会発信

助成先の研究者の結果発表を控えた段階で、財団選考委員を中心に、対象分野の研究者に参加を求めて、研究結果報告、意見交換の場を提供する。様々な視点からの助言にもとづき研究成果をブラッシュアップするとともに、理解しやすい内容にまとめ、研究結果は「研究紀要」として記録し、財団Webサイトで広く社会に発信する。

また、助成研究や顕彰に関連するテーマについて、講演・シンポジウム等、広く一般向けの情報発信の機会の提供を実施する。

3. 学術顕彰事業

アサヒグループ学術振興財団において2022年度より再開した顕彰事業を、2024年度以降も継続して実施する。昨年8月下旬より、対象者（過去5年研究助成授与者96名）に対して募集要項を送付し、9月1日～30日の間で申請を募った。結果、4名の申請を受理し、選考委員会（2023年12月15日）を実施し、2名の研究者を選考した。

研究賞受賞者には、記念講演の実施を依頼し、内容は一定期間財団WEBサイト等で広く発信する。

4. 芸術文化活動への助成支援

公益社団法人日本工芸会は「日本伝統工芸展」をはじめ、伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されており、当財団は2008年から助成をしている。

助成を通じて得られた知見や、主催者である日本工芸会との人脈を、アサヒグループ大山崎山荘美術館の運営に活かしている。

本年も引き続き「日本伝統工芸展」を中心とする公益目的事業の活動費として、日本工芸会へ50万円の助成を実施する計画である。

5. アサヒグループ大山崎山荘美術館の運営

アサヒグループ大山崎山荘美術館は、常設展・企画展・地域貢献活動・教育普及活動等を通して、楽しい生活文化の創造を提案し続ける。

運営にあたっては、以下5つの施策を柱とする。

1) 展示：

当館の資産である所蔵品コレクションを最大限活用しながら、テーマ性・ストーリー性を持った常設展・企画展を実施する。

【2024年度展覧会概要】

①「加賀正太郎没後70年・ニッカウヰスキー90周年記念 蘭花譜と大山崎山荘 一大阪時代を生きた男の情熱」

2024年3月9日（土）～ 2024年5月12日（日）

2024年は、大山崎山荘を造った加賀正太郎(1888-1954)が66歳で没してから70年にあたり、また、ニッカウヰスキー創立から90年を迎える。

本展では、加賀正太郎の足跡をたどるとともに、彼が後世に残した貴重な財産である

大山崎山荘と『蘭花譜』を広く紹介する。

②「愛知県陶磁美術館コレクション 中国やきもの 7000 年の旅 一大山崎山荘でめぐ
る陶磁器ヒストリー」

2024 年 6 月 1 日（土）～2024 年 9 月 1 日（日）

愛知県陶磁美術館のコレクション約 80 点により、中国新石器時代から清朝にいたるまで 7000 年に及ぶ悠久の中国陶磁の歴史を概観する。神秘的な土器の世界、副葬品として用いられた多彩色の器や日常の世界を再現する建築明器、世界に影響を与えた青花や、五彩をはじめとする数多くの技法などを、中国各地の窯の代表作品約 80 点を通じて紹介。約 100 年前に建てられた大山崎山荘の建築、室内の中国古代の意匠と、絢爛たる中国陶磁の共演を訴求する。

③「丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス展（仮）」

2024 年 9 月 14 日（土）～2024 年 12 月 8 日（日）

アメリカの国民的画家アンドリュー・ワイエス（1917-2009）は、生涯のほとんどを故郷のペンシルベニア州チャッツフォードと、別荘があるメイン州クッシングで過ごし、二つの土地の風景とそこで暮らす人々を描いた。アンドリュー・ワイエスの没後 15 年に開催される本展では、埼玉県朝霞市にある丸沼芸術の森が所蔵する、ワイエスの貴重な水彩・素描コレクションより選りすぐりの作品約 70 点を紹介する。

④「松本竣介 デッサン展（仮）」

2025 年 1 月 4 日（土）～2025 年 4 月 6 日（日）

松本竣介（1912-1948）は東京で生まれ岩手で育ち、1930 年代から第二次大戦後にかけて、抒情あふれる風景画や人物画を数多くのこしている。松本は「只の線は一切のものを現はすのだ」と語り、デッサンについては特段の関心と深い見識をもっていたことが知られている。本展では、公益財団法人 大川美術館（群馬県桐生市）協力のもと、短くも凝縮された人生のなかで画家が精力的に描きつづけたデッサンより約 50 点を厳選し、それらに関連した油彩画約 15 点とともに展示する。

2) 作品保存：

山本為三郎コレクション、アサヒグループ所有コレクションを中心とした当館所蔵品を公共の財産として未来につないでいく。

収蔵庫の収容能力が限界となりつつあるため、外部倉庫借庫を進める。

3) 調査・研究：

当館所蔵品の研究深耕を継続するとともに、将来開催の企画展に向けた準備と合わせ、担当学芸員の専門性を高めるべく積極的な調査研究活動を進める。

4) 地域貢献：

・地域社会の創造性を高める拠点として、特に京都乙訓地区の児童の教育普及活動を行う。

・地域活性のプラットフォームとしての役割を果たす。地域の国宝・文化財施設、および京都府とのネットワークを強化し、観光客誘引の中心的役割を果たす。

5) リスクマネジメント：

自然・人為災害、業務妨害に対する対応策の総点検と訓練を実施する。

【重点課題】

○接客クオリティの向上

受付・ショップ・喫茶・館内案内・送迎サービス・問い合わせ対応等、接客のクオリティを向上させる。

○施設の整備

お客様の安心・安全、所蔵品の保存、お客様の満足度向上のための施設整備を行う。

○存在感を訴求する情報発信

マスコミ・京都府・大山崎町との関係づくり・連携を強化すると共に、デジタル広報を強化し情報発信力を向上させる。

○施設の有効活用

茶室や庭園、所有コレクションの更なる活用にあたり、デジタル等の技術を用いた活性化策をアサヒグループ本社と連携して検討する。

○開館30周年に向けた体制作り

2026年度の開館30周年を見据え、組織体制や設備更新等、新たなスタートに必要な準備を進める。

主たる事業の予定

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
2024	3	9	大山崎山荘美術館企画展	「蘭花譜と大山崎山荘 一大大阪時代を生きた男の情熱」(～5月12日)
	4	11	研究助成授与式 研究賞授賞式	・2024年度助成先研究者を対象に開催 ・2024年度受賞者を対象に開催
	6	上旬	理事会	・2023年度事業報告、計算書類等承認の件
	6	下旬	定時評議員会	・2023年度事業報告の報告、計算書類等承認の件
	6	1	大山崎山荘美術館企画展	「愛知県陶磁美術館コレクション 中国やきもの7000年の旅展」(～9月1日)
	9	1	研究賞の公募開始	募集期間：～9月30日
	9		日本工芸会への助成	
	9	14	大山崎山荘美術館企画展	「アンドリュー・ワイエス展」(～12月8日)
	10	下旬	研究結果報告会	2023年度学術研究助成の報告 2部門ごとに開催
	11	1	学術研究助成公募	募集期間：～11月30日
	12	中旬	研究賞の選考委員会	
2025	1	4	大山崎山荘美術館企画展	「松本竣介 デッサン展」(～4月6日)
	2	上旬	助成選考委員会	2部門ごとに実施
	3	上旬	理事会	・2025年度事業計画・収支予算の承認の件

以上

収 支 予 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益財団法人アサヒグループ財団

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引消去	合計
	公1 助成事業	公2 美術館事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益					7,190,000		7,190,000
基本財産受取利息					7,190,000		7,190,000
特定財産運用益	790,000			790,000			790,000
特定財産受取利息	790,000			790,000			790,000
受取寄付金	28,206,226	145,000,000		173,206,226	18,793,774		192,000,000
受取寄付金	28,206,226	145,000,000		173,206,226	18,793,774		192,000,000
事業収益		120,990,000		120,990,000			120,990,000
入館料収益		66,520,000		66,520,000			66,520,000
物品販売収益		23,300,000		23,300,000			23,300,000
喫茶収益		31,170,000		31,170,000			31,170,000
雑収益							0
雑収益							0
経常収益計	28,996,226	265,990,000	0	294,986,226	25,983,774	0	320,970,000
(2) 経常費用							
活動助成金	17,100,000	0		17,100,000	0		17,100,000
役員報酬	1,800,000	0		1,800,000	5,170,000		6,970,000
給料手当	3,185,179	84,410,000		87,595,179	5,953,821		93,549,000
法定福利費	894,000	11,380,000		12,274,000	894,000		13,168,000
福利厚生費	50,000	400,000		450,000	53,000		503,000
会議費	140,000	100,000		240,000	400,000		640,000
旅費交通費	560,000	840,000		1,400,000	1,190,000		2,590,000
バス運行費	0	9,660,000		9,660,000	0		9,660,000
通信運搬費	0	2,200,000		2,200,000	32,000		2,232,000
減価償却費	704,000	0		704,000	0		704,000
消耗品費	20,000	2,600,000		2,620,000	20,000		2,640,000
修繕費	0	5,200,000		5,200,000	0		5,200,000
印刷製本費	800,000	400,000		1,200,000	100,000		1,300,000
水道光熱費	0	19,200,000		19,200,000	186,000		19,386,000
家賃	1,091,347	0		1,091,347	1,091,348		2,182,695
設備賃借料	0	26,640,000		26,640,000	0		26,640,000
保険料	0	700,000		700,000	0		700,000
諸謝金	1,100,000	0		1,100,000	0		1,100,000
租税公課	0	3,000,000		3,000,000	0		3,000,000
業務委託費	938,600	5,400,000		6,338,600	3,861,400		10,200,000
警備費	0	3,520,000		3,520,000	0		3,520,000
物品販売原価	0	12,790,000		12,790,000	0		12,790,000
喫茶店仕入原価	0	11,950,000		11,950,000	0		11,950,000
企画展費	0	52,000,000		52,000,000	0		52,000,000
広告宣伝費	0	2,840,000		2,840,000	0		2,840,000
雑費	613,100	10,760,000		11,373,100	7,032,205		18,405,305
経常費用計	28,996,226	265,990,000	0	294,986,226	25,983,774	0	320,970,000
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高							1,045,774,163
一般正味財産期末残高							1,045,774,163
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							287,190,000
指定正味財産期末残高							287,190,000
III 正味財産期末残高							1,332,964,163

* 「資金調達の見込みについて」

該当ありません。

* 「設備投資の見込みについて」

該当ありません。

収 支 予 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益財団法人アサヒグループ財団

	2024年度予算	2023年予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,190,000	6,470,000	720,000
基本財産受取利息	7,190,000	6,470,000	720,000
特定財産運用益	790,000	790,000	0
特定財産受取利息	790,000	790,000	0
受取寄付金	192,000,000	167,000,000	25,000,000
受取寄付金	192,000,000	167,000,000	25,000,000
事業収益	120,990,000	114,530,000	6,460,000
入館料収益	66,520,000	63,210,000	3,310,000
物品販売収益	23,300,000	23,960,000	△ 660,000
喫茶収益	31,170,000	27,360,000	3,810,000
雑収益			
雑収益			
経常収益計	320,970,000	288,790,000	32,180,000
(2) 経常費用			
事業費			
活動助成金	17,100,000	16,800,000	300,000
役員報酬	1,800,000	4,600,000	△ 2,800,000
給料手当	87,595,179	71,855,179	15,740,000
法定福利費	12,274,000	11,374,000	900,000
福利厚生費	450,000	300,000	150,000
会議費	240,000	240,000	0
旅費交通費	1,400,000	1,040,000	360,000
バス運行費	9,660,000	6,370,000	3,290,000
通信運搬費	2,200,000	1,650,000	550,000
減価償却費	704,000	1,024,000	△ 320,000
消耗品費	2,620,000	2,620,000	0
修繕費	5,200,000	660,000	4,540,000
印刷製本費	1,200,000	1,200,000	0
水道光熱費	19,200,000	22,500,000	△ 3,300,000
家賃	1,091,347	1,091,347	0
設備賃借料	26,640,000	26,670,000	△ 30,000
保険料	700,000	550,000	150,000
諸謝金	1,100,000	1,100,000	0
租税公課	3,000,000	3,000,000	0
業務委託費	6,338,600	5,548,600	790,000
警備費	3,520,000	2,900,000	620,000
物品販売原価	12,790,000	16,720,000	△ 3,930,000
喫茶店仕入原価	11,950,000	10,980,000	970,000
企画展費	52,000,000	42,000,000	10,000,000
広告宣伝費	2,840,000	320,000	2,520,000
雑費	11,373,100	10,113,100	1,260,000
事業費計	294,986,226	263,226,226	31,760,000

	2024年度予算	2023年予算	増減
管理費			0
役員報酬	5,170,000	3,370,321	1,799,679
給料手当	5,953,821	6,353,500	△ 399,679
法定福利費	894,000	894,000	0
福利厚生費	53,000	53,000	0
会議費	400,000	260,000	140,000
旅費交通費	1,190,000	690,000	500,000
通信運搬費	32,000	32,000	0
消耗品費	20,000	20,000	0
印刷製本費	100,000	100,000	0
水道光熱費	186,000	144,000	42,000
家賃	1,091,348	1,091,348	0
業務委託費	3,861,400	3,881,400	△ 20,000
雑費	7,032,205	8,674,205	△ 1,642,000
管理費計	25,983,774	25,563,774	420,000
経常費用計	320,970,000	288,790,000	32,180,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額		0	0
一般正味財産期首残高	1,045,774,163	1,061,567,031	△ 15,792,868
一般正味財産期末残高	1,045,774,163	1,061,567,031	△ 15,792,868
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	287,190,000	287,190,000	0
指定正味財産期末残高	287,190,000	287,190,000	0
III 正味財産期末残高	1,332,964,163	1,348,757,031	△ 15,792,868